

肝炎ウイルス検査促進事業

「知って、肝炎」研修会の開催

協会けんぽ埼玉支部では、事業主の皆様や加入者の皆様に、肝炎ウイルス検査の重要性や肝炎治療の現状についての理解を深めていただくことで、肝炎ウイルス検査の受検率の向上を図り、肝炎の早期発見・早期治療につなげるため、平成29年8月29日に埼玉県との共催により「知って、肝炎」研修会を開催いたしました。多くの方にご参加いただき、アンケートではほとんどの方から参考になったとの回答をいただきました。

日程 場所	平成29年8月29日(火) 県民健康センター 大会議室C
プログラム	<p>■講義 『知っておきたい肝炎の知識と従業員の健康管理』 持田智氏（埼玉医科大学病院 消化器内科・肝臓内科 教授）</p> <p>■肝炎対策広報大使あいさつ 徳光和夫氏（「知って、肝炎プロジェクト」肝炎対策広報大使・フリーアナウンサー）</p>
参加人数	70名

研修会の様子



アンケート結果抜粋

Q. 本日の研修会の内容は参考になりましたか。

大変参考になった	44
参考になった	19
あまり参考にならなかった	1
参考にならなかった	0

Q. 本日の研修の内容で印象に残ったことは何ですか。(複数回答可)

肝炎と肝がんの関係	38
肝炎ウイルス検査の必要性	42
肝炎の治療について	36
その他	2

Q. 肝炎ウイルス検査を勤務先の従業員等に勧めようと思いますか。

勧めようと思う	62
勧めようとは思わない	0
わからない	2

肝炎対策広報大使による県知事表敬訪問への同席

今年度から埼玉県と連携して肝炎ウイルス検査の促進を行っていることから、研修会に続いて行われた肝炎対策広報大使(徳光和夫氏)による県知事表敬訪問に同席することとなり、そこで、埼玉県と連携して肝炎ウイルス検査をさらに促進していくことを発信しました。研修会と県知事表敬訪問の様子は、当日のテレビニュースで放映されたほか、新聞にも掲載されました。

県知事表敬訪問



写真撮影



囲み取材



※左から、埼玉県 保健医療部 本多部長、柴田支部長、
埼玉医科大学病院 持田教授、上田知事、徳光和夫氏、
厚生労働省 健康局 がん・疾病対策課 肝炎対策推進室
小野室長、埼玉肝臓友の会 井原事務局長

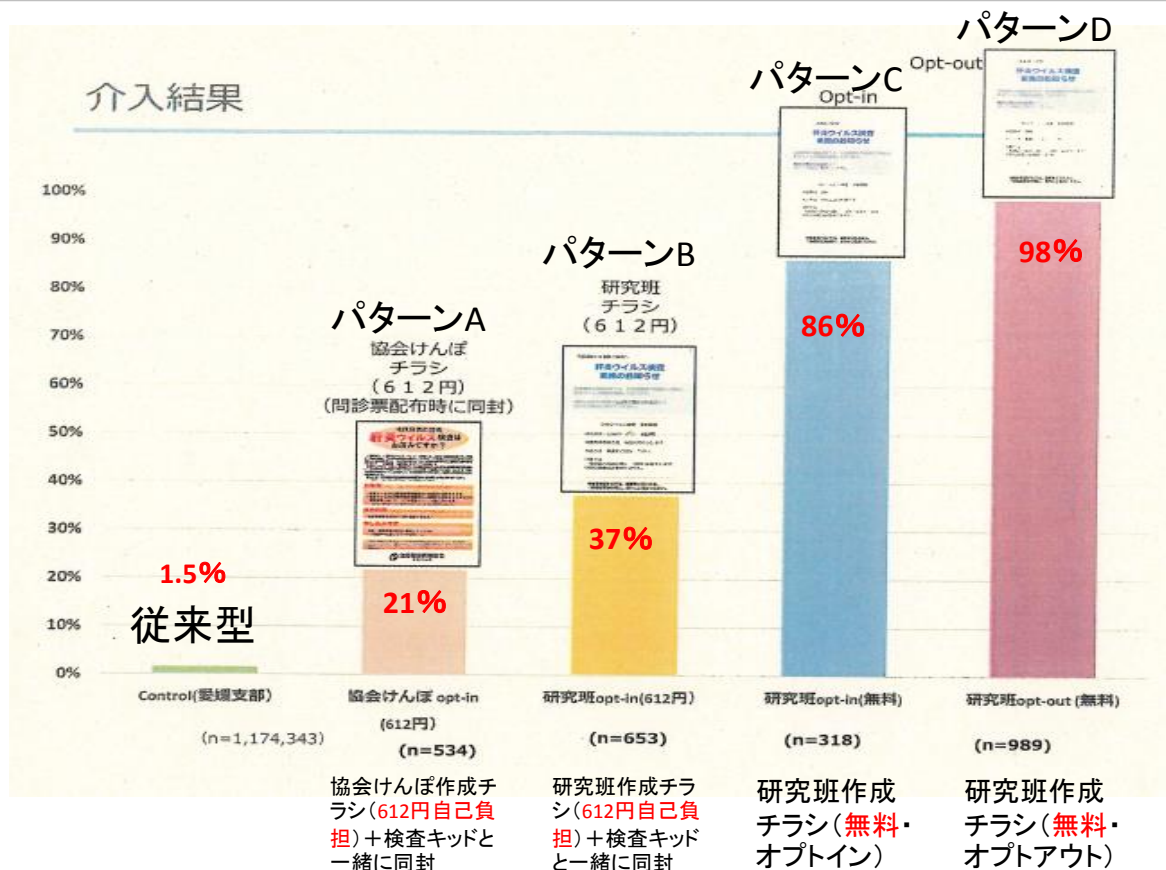
肝炎ウイルス検査受検者の増加対策

協会けんぽにおける肝炎ウイルス検査の受検者は、生活習慣病予防健診受診者の約1%となっており、非常に少ない状況です。肝炎は自覚症状がないまま進行してしまうため、検診による早期発見・早期治療が非常に重要であることから、受検者数を増やすため、国の補助金事業である下記の研究事業を参考に取組を検討しました。

平成26年度厚生労働科学研究費補助金(肝炎等克服政策研究事業)

“効率的な肝炎ウイルス検査陽性者フォローアップシステムの構築のための研究”

独立行政法人 国立国際医療研究センター肝炎・免疫研究センター 是永匡紹教授



研究班パターンBを採用

チラシに記載する情報量を抑制し、訴求効果を高めたデザインが特徴。

肝炎ウイルス検査実施のお知らせ兼検査申込用紙(チラシ)を作成して健診機関へ配付。

健診機関において、生活習慣病予防健診申込者に対して、検査キットと一緒に送付していただき、健診当日に検査申込をする。